

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第50週の発生動向

**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)** (全数把握対象) の報告が宮崎市保健所から2例あった。県内での報告は8例となった。7例目は70歳代女性、発症は11月下旬、ダニの刺し口はなく、海外渡航歴もなかった。8例目は、50歳代女性、発症は12月上旬、数日後死亡、ダニの刺し口はなく、海外渡航歴もなかった。

**風しん** (全数把握対象) の報告が宮崎市保健所から1例あり、50週までの累積報告数は24例となった。患者は30歳代でワクチン接種歴はなかった。

定点医療機関からの報告総数は1,182人 ( 定点あたり36.6 ) で、前週比108%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は水痘と手足口病で、大きく減少した疾患はなかった。

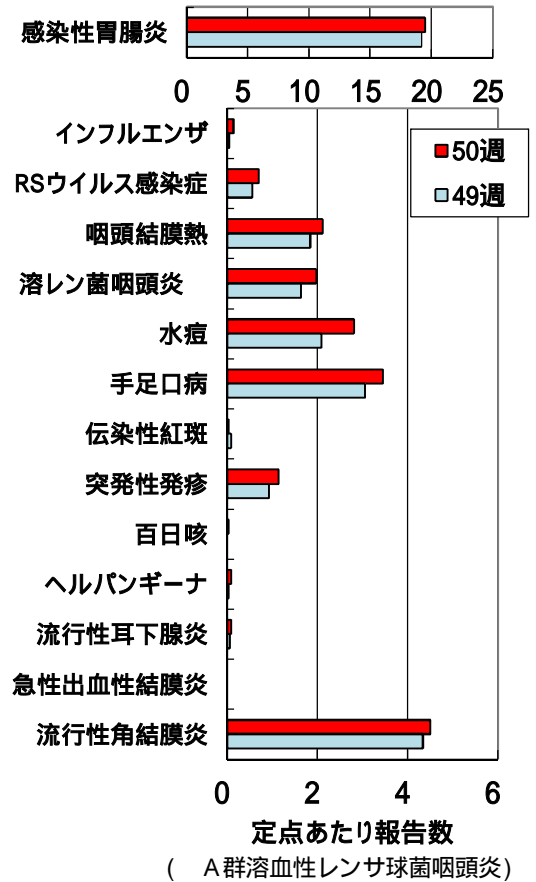
### インフルエンザ・小児科定点からの報告

#### 【感染性胃腸炎】

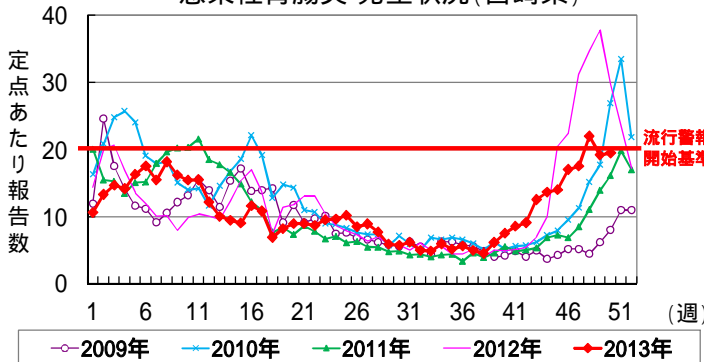
・報告数は700人 ( 19.4 ) で前週比101%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\* ( 20.6 ) の約9割である。日南 ( 36.7 ) 、中央 ( 24.0 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週 ( 計15週 ) の平均値

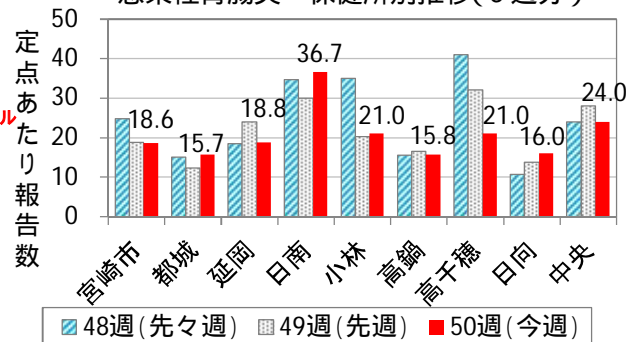
### (前週との比較)



感染性胃腸炎 発生状況 (宮崎県)

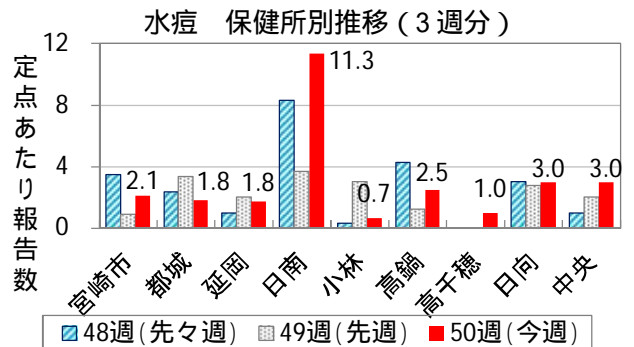
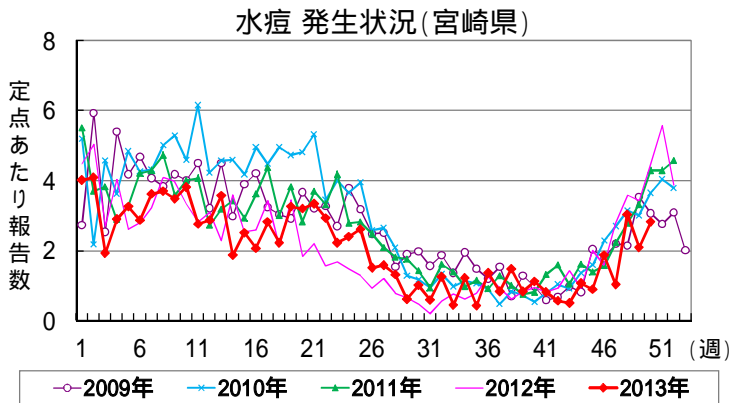


感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



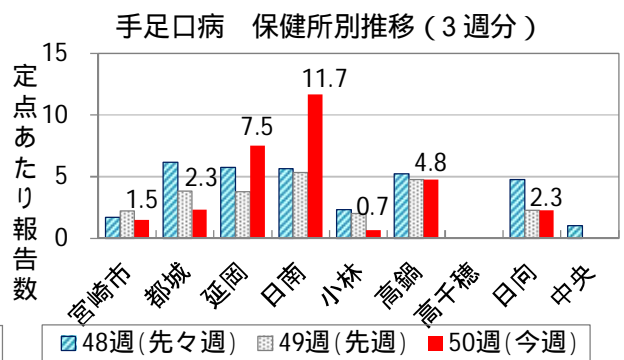
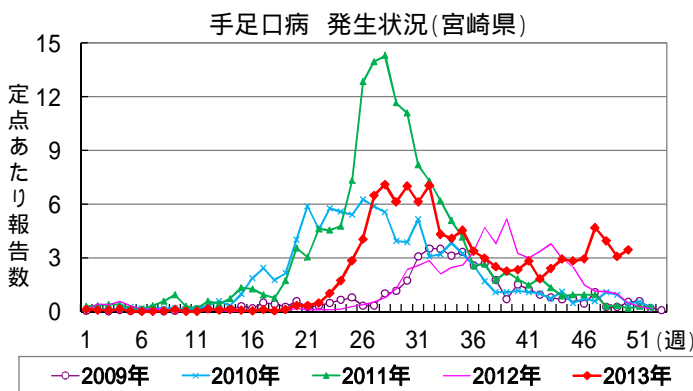
#### 【水痘】

・報告数は101人 ( 2.8 ) で前週比135%と増加したが、例年同時期の定点あたり平均値\* ( 3.8 ) の約7割である。日南 ( 11.3 ) 保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約7割を占めた。



**【手足口病】**

・報告数は124人(3.4)で前週比113%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.39)と比較してかなり多い。日南(11.7)、延岡(7.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約9割を占めた。



**基幹定点からの報告**

マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所管内から1人報告された。患者は5歳。

**流行警報レベル開始基準値超過疾患**

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(5.5)
延岡	手足口病(7.5)
日南	咽頭結膜熱(4.7)、感染性胃腸炎(36.7)、水痘(11.3)、手足口病(11.7)
小林	感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	なし
高千穂	感染性胃腸炎(21.0)
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(24.0)、百日咳(1.0)

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(7.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・百日咳(1.0)

**全数把握対象疾患 (50週までに新たに届出のあったもの)**

- 1類感染症： 報告なし。
- 2類感染症： 結核4例。
- 3類感染症： 報告なし。
- 4類感染症： 重症熱性血小板減少症候群2例、つつが虫病2例。
- 5類感染症： 風しん1例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70 歳代	その他の結核 (前立腺結核、粟粒結核)	発熱、食欲不振
			80 歳代	疑似症患者	胸部CTによる肺尖部胸膜肥厚、喀血
			90 歳代	肺結核	食欲不振
		高鍋	30 歳代	その他の結核 (粟粒結核)	咳、発熱
4類	重症熱性血小板 減少症候群	宮崎市	50 歳代	患者	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、 血小板減少、白血球減少、麻痺性イレウス
			70 歳代	患者	発熱、下痢、全身倦怠感、血小板減少、白血 球減少、背部痛
	つつが虫病	宮崎市	60 歳代	患者	発熱、刺し口
			70 歳代	患者	発熱、刺し口、発疹、倦怠感
5類	風しん	宮崎市	30 歳代	患者	発疹、発熱、リンパ節腫脹、関節痛・関節炎 ワクチン接種歴：なし

## 病原体情報（衛生環境研究所微生物部 2013 年 12 月 17 日までに検出）

### ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
インフルエンザAH3型	2	男	2013.12.4	インフルエンザA、40.6、関節痛、 筋肉痛、上気道炎	鼻汁	2013.12.17

インフルエンザA型と診断された幼児からインフルエンザAH3型が検出された。本県では今シーズンに入り1例目の検出である。全国的なインフルエンザの流行状況は、12月18日現在でAH3型が最も多く、次いでAH1pdm09、B型の順となっている。また、定点当たりの患者報告数は毎週増加しており、本格的な流行が始まる前の予防対策が必要である。

### 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	女	2013.11.28	発熱(38.0)、気管支炎	後鼻腔	2013.12.11
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	30歳代	女	2013.12.3		便	2013.12.9

## 全国第 49 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 22.1 で、前週比 117%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 3,294 人 (0.67) で前週比 152%と増加した。佐賀県 (2.7)、鹿児島県 (2.4)、山口県・高知県 (2.0)からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 29%、6-9 歳が 26%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 3%、20 歳以上が 26%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 41,347 人 (13.1) で前週比 127%と増加した。埼玉県 (25.4)、群馬県 (21.9)、東京都 (21.5)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

全数把握対象疾患（全国第49週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	351例				
3類感染症	細菌性赤痢	2例	腸管出血性大腸菌感染症	31例		
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1例	つつが虫病	22例	デング熱	1例
	日本紅斑熱	3例	レジオネラ症	13例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10例	ウイルス性肝炎	4例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	14例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	34例	先天性風しん症候群	2例
	梅毒	16例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例
	風しん	8例	麻しん	1例		

## 月報告対象疾患の発生動向 <11月>

### 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は49人（3.8）で、前月比163%と増加した。また、昨年11月（2.8）の約1.4倍であった。

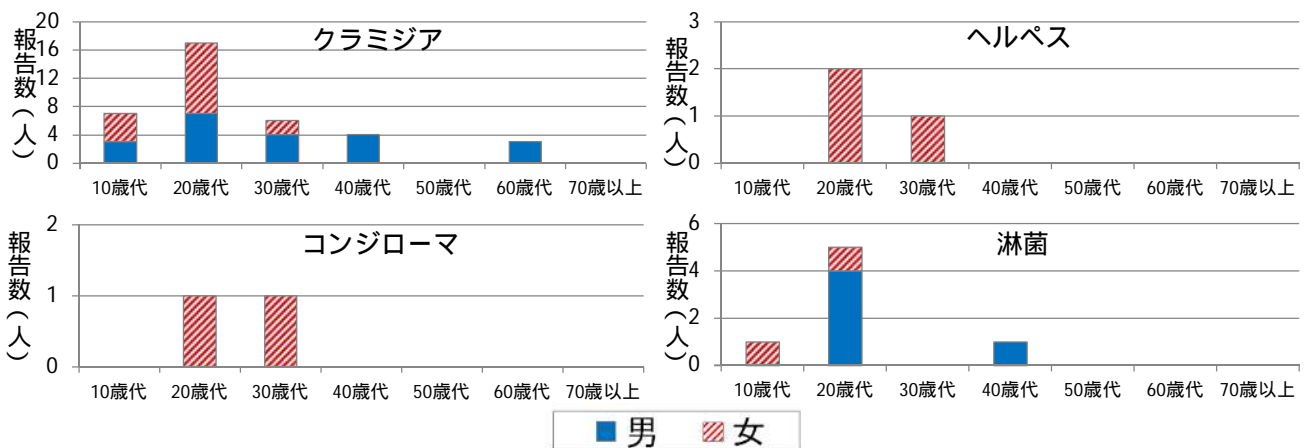
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数37人（2.9）で、前月の約2倍、前年の約1.5倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性21人・女性16人）

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月及び前年の約半数であった。（女性のみ）

尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月及び前年の約2倍であった。（女性のみ）

淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約1.8倍、前年の約1.4倍であった。（男性5人・女性2人）



【全国】 定点医療機関総数：972

定点医療機関からの報告総数は4,026人（4.1）で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,066人（2.1）で前月比94%、性器ヘルペスウイルス感染症704人（0.72）で前月比96%、尖圭コンジローマ459人（0.47）で前月比90%、淋菌感染症797人（0.82）で前月比92%であった。

### 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人（2.6）で前月比69%と減少した。また昨年11月（6.6）の約4割であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人（2.6）で、前月の約7割、前年の約4割であった。70歳以上が全体の約7割、0歳が約2割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：472

定点医療機関からの報告総数は1,842人（3.9）で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,549人（3.3）で前月比93%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症259人（0.55）で前月比104%、薬剤耐性緑膿菌感染症30人（0.06）で前月比100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症4人であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第50週(12月09日～12月15日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3	8	3	3		1	1				
	定点あたり	0.05	0.14	0.19	0.30	0.00	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	20	25	5	1	5	10		1		2	1
	定点あたり	0.56	0.69	0.50	0.17	1.25	3.33	0.00	0.25	0.00	0.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	66	76	16	33	3	14	5	2		3	
	定点あたり	1.83	2.11	1.60	5.50	0.75	4.67	1.67	0.50	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	59	71	17	5	17	2	4	5		20	1
	定点あたり	1.64	1.97	1.70	0.83	4.25	0.67	1.33	1.25	0.00	5.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	690	700	186	94	75	110	63	63	21	64	24
	定点あたり	19.17	19.44	18.60	15.67	18.75	36.67	21.00	15.75	21.00	16.00	24.00
水痘	報告数	75	101	21	11	7	34	2	10	1	12	3
	定点あたり	2.08	2.81	2.10	1.83	1.75	11.33	0.67	2.50	1.00	3.00	3.00
手足口病	報告数	110	124	15	14	30	35	2	19		9	
	定点あたり	3.06	3.44	1.50	2.33	7.50	11.67	0.67	4.75	0.00	2.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	1	1								
	定点あたり	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	41	14	7	5	6		4		5	
	定点あたり	0.92	1.14	1.40	1.17	1.25	2.00	0.00	1.00	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数		1									1
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	3			2			1			
	定点あたり	0.03	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3		1	1					1	
	定点あたり	0.06	0.08	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	26	27	22	4	1						
	定点あたり	4.33	4.50	7.33	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～50週)

2類感染症	急性灰白髄炎	1例	結核	241例(4)		
3類感染症	コレラ	1例	腸管出血性大腸菌感染症	94例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例(2)
	つつが虫病	16例(2)	デング熱	3例	日本紅斑熱	10例
	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11例	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	7例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	8例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	9例
	破傷風	4例	風しん	24例(1)		

( )内は今週届出分、再掲